

「ブルー&グリーンプロジェクト」 第2回 高田松原再生植樹祭の開催

一般財団法人ベターリビング

一般財団法人ベターリビング（理事長 井上 俊之）では、家庭から排出されるCO²削減に有効なエコジョーズ（省エネ型ガス給湯暖房機）やエネファーム（家庭用燃料電池コージェネレーションシステム）の普及にあわせて植樹活動の支援を行なう環境保全活動「ブルー&グリーンプロジェクト」を展開しています。

このたび、当プロジェクトとして、昨年につき、第2回目となる「高田松原」再生植樹祭を4月22日（日）に開催しました。

植樹祭では、戸羽 太陸前高田市長の来賓挨拶のほか、プロジェクトを代表し、イメージキャラクターである谷 花音さんから陸前高田市民の方々に向けて、苗木の贈呈が行われました。

NPO 法人高田松原を守る会をはじめとした陸前高田市民および当プロジェクト関係者（全国ガス事業者、ガス機器メーカー、住宅事業者など）、その他ボランティア関係者など、総勢約200名が参加し、1,500本余りの苗木の植樹を行いました。



第2回 植樹祭後の集合写真



高田松原を守る会による植樹作業のレクチャー



心を込めた植樹作業

—— 第2回「高田松原」再生植樹祭 概要 ——

主 催：NPO法人高田松原を守る会
一般財団法人ベターリビング
一般財団法人日本緑化センター

日 時：2018年4月22日（日） 9：30～11：10

場 所：高田松原地区海岸防災林造成工事敷地内
Nブロック（工事区域内）

スケジュール

9：30 「高田松原」再生植樹祭

- ・開会挨拶
（NPO法人高田松原を守る会 鈴木会長）
- ・主催者挨拶
（一般財団法人ベターリビング 井上理事長）
- ・来賓紹介・代表挨拶
（戸羽陸前高田市長）
- ・谷花音さんによる苗木贈呈
- ・参加者全員による植樹
- ・記念撮影

11：10 終了

主催者及び来賓からのコメント

■高田松原を守る会

鈴木 善久理事長

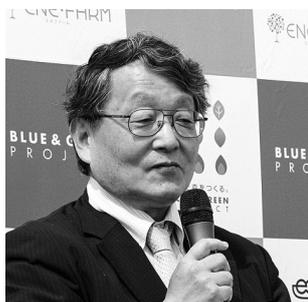
高田松原再生植樹祭にお越しの皆様から感謝申し上げます。今年はず年を超える約3,500本の植樹を行う予定です。ご協力とご支援くださる多くの皆様のご多幸とご健勝をお祈り申し上げます。



■ベターリビング

井上 俊之理事長

昨年、当プロジェクトで提供したマツ苗は、ほとんど枯損することなく育っています。皆様が真心を込めて植えていただいたことと、試験植栽等の取組を行った上での結果なのだろうと考えております。全ての関係者の方に心から敬意と感謝を申し上げます。



■陸前高田市

戸羽 太市長

震災により陸前高田市民の誇りであった「高田松原」を失ったが、高田松原を守る会を中心とした多くの方々にご協力いただき、その誇りを取り戻そうとしています。松林の再生には50年はかかりますが、今、誰かがやらなければその誇りは取り返せません。その意味で、歴史的な活動に参加していることを、皆様の心に留めて頂きたいと思っております。



■ブルー &

グリーンプロジェクト
イメージキャラクター
谷 花音さん

陸前高田に来るたびに、街並みの復興がどんどん進み、姿を変えていってすごいと思います。今日植える松苗の成長と町の変化が楽しみです。



ブルー&グリーンプロジェクトについて

一般財団法人ベターリビングと日本ガス体エネルギー普及促進協議会が共催し、温室効果ガスの排出削減に資する活動として、ベターリビングが認定する省エネ型ガス給湯暖房機（エコジョーズ）や家庭用燃料電池コージェネレーションシステム（エネファーム）の普及に取り組むとともに、植樹活動の支援を行なう環境貢献活動です。ブルーはガスの炎を、グリーンは植樹により広がる緑を表しています。

2006年6月、『ガスで森をつくる』をキャッチフレーズに、ベトナムで植樹活動をスタート。2016年までに390万本（約2,200ha）の植樹を行い、環境保全に加え、当地における林業の雇用創出、飲料水の確保などの効果をもたらすことができました。

2014年からは、東日本大震災で流失した『高田松原（岩手県陸前高田市）』の再生活動の支援をスタート。現地のNPO法人高田松原を守る会への活動支援として、試験植栽や本植栽で使用される約1万本の苗木の育成・提供を行うとともに、次世代の松原の保育を担う人材育成などを行っています。



第2回 「高田松原」再生植樹祭動画



臨場感あふれる動画（YOUTUBE）です！！
「高田松原」の今を是非ご覧ください！！

【参考】PR動画キャプション



- ・植樹祭、植樹作業の風景
- ・参加者インタビューなど
（大手ハウスメーカー、デベロッパー役員様より）